ZOOM 504 ACOUSTIC 取扱説明書

このたびは、ズーム504（以下“504”と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
504の機能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくためにも、ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いくださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

株式会社ズーム 〒183-0022 東京都府中市宮西町 2-10-2 ノアビル 1 階
電話：0423 - 69 - 7111　　ファクシミリ：0423 - 69 - 7115
Printed in Japan 504-5010

CATCH US IF YOU CAN

1 特長

- ●ギターのアコースティックサウンドを追求した新しいタイプのコンパクトマルチエフェクターです。
- ●アコースティックギターとエレクトリックギターの両方に対応。アコースティックギター専用の各種エフェクトに加え、エレクトリックギターの音をアコースティックギターのような響きに変えるアコースティックギターシミュレーターを搭載しています。
- ●マイクで集音したような独特の響きを与えるAIRエフェクトや、空間的な響きが得られるリバーブやコーラスエフェクトを搭載。ライン録音でも自然なサウンドが楽しめます。
- ●フィードバックを起こしている周波数を自動検出してその帯域を抑えるF.B. SUPPRESSORを搭載。ライン録音だけでなくライブ演奏にも万全です。
- ●楽器の出力レベルに応じて選べる２種類のインプット端子を用意。マグネットピックアップを使ったアコースティックギターから、ハムバッキングタイプのエレクトリックギターまで幅広く対応します。
- ●ご自分の好みに合わせて、さまざまな設定がメモリーできる24種類のパッチの中から切り替えてお使いになれます。
- ●ギター用オートクロマチックチューナーを内蔵。いつでもどこでも簡単にチューニングができます。また、チューナー機能を常時オフにすることも可能です。
- ●6LR61形乾電池（アルカリ）、ACアダプターに対応した２電源方式を採用。

2 安全にご使用いただくためのお取り扱い上のご注意

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。
マークの意味はつぎの通りです。

⚠ **警告**　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

⚠ 電源について

警告

- ● 本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池をご使用ください。

ACアダプターによる駆動

- ● ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD-0006）をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ● ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ● ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- ● 長時間ご使用とならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- ● 市販の6LR61／9V形乾電池（アルカリ）をお使いください。
- ● 504は充電機能を持っていません。
乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。
- ● 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を504から取り出してください。
- ● 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ● ご使用の際は、必ず電池ブタを閉めてください。

⚠ 使用環境について

注意

504をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

- ● 温度が極端に高くなる所や低くなる所
- ● 湿度が極端に高い所
- ● 砂やほこりの多い所
- ● 振動や衝撃の多い所

⚠ 取り扱いについて

注意

- ● 504は精密機器ですのでフットスイッチ以外のスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
- ● 504に異物（硬貨や針金など）または液体（水，ジュースやアルコールなど）を入れないように注意してください。
- ● ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。
- ● 移動させる場合は一旦電源をオフしてから必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

⚠ 改造について

注意

- ● ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ● 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

504は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。
しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。
そのような場合は、504と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。
デジタル制御の電子機器では、504も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損，消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

504が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。
クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにINPUT端子にさされているケーブルのプラグかACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。
「製品の型番」「製造番号」「故障，異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

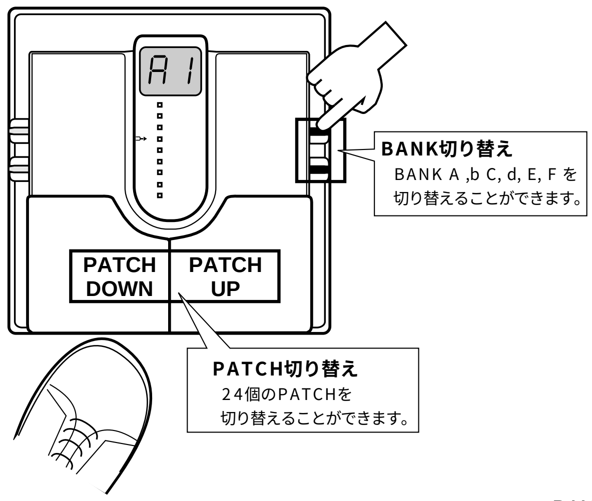
保証書の手続きとサービスについて

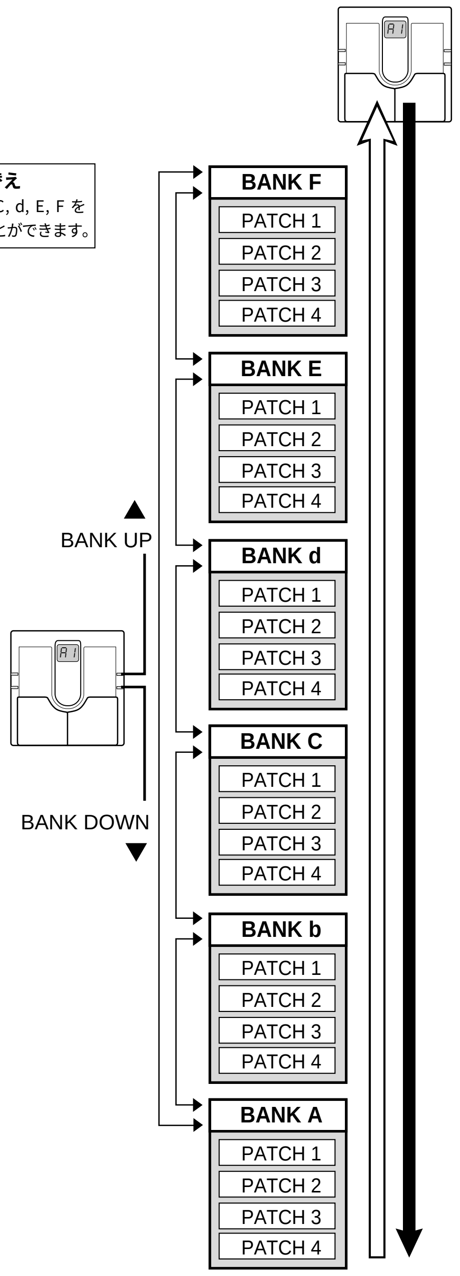
保証期間は、お買い上げいただいた日から１年間です。
ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。
万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日，販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理，改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

7 PATCHの切り替え方





BANK HOLD OFF 時の BANK/PATCH の切り替わり

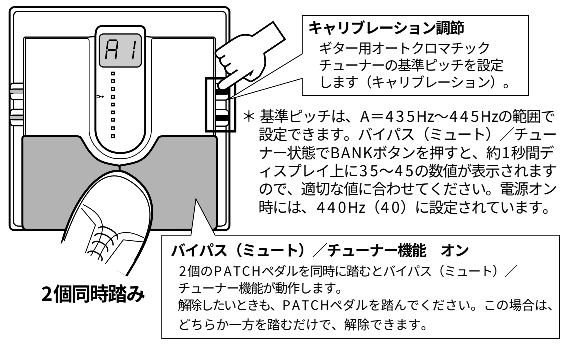
24個のPATCHは、PATCHペダルを踏むことで簡単に切り替えることができます。

右のPATCHペダルを踏むと次のPATCHに、左のPATCHペダルを踏むと前のPATCHに切り替えられます。
初期設定では、24個すべてが連続して選べるようにしておりますが「PATCHの切り替え方（応用編）」の項で述べますように1つのBANKの中だけでPATCHを切り替える設定にすることもできます。

BANKの切り替えは、VALUE ＋／－キーで容易に行えます。
仮に、いま選ばれているPATCHが“BANK AのPATCH 2”で、“BANK CのPATCH 3”に切り替えたい場合に、PATCHペダルのみで切り替えようとすると9回も踏まなければなりませんがBANKの切り替えとしてVALUE ＋キーを2回押せば、PATCHペダル（UP側）を1回踏むだけで同じように“BANK CのPATCH3”を選ぶことができます。

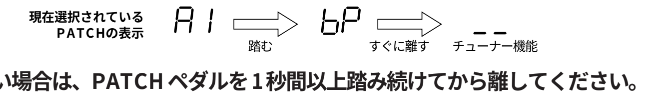
8 バイパス（ミュート）／チューナーの使い方

504は、エフェクトの音を一時的にオフの状態（これをバイパスと呼びます）にして、楽器の原音のみを出力させることができます。
また、バイパスのときはインジケーター表示によるギター用オートクロマチックチューナー機能が動作します。
なお、チューニングしている音を出力させたくない場合のためにミュート機能も搭載しています。



バイパス，ミュート状態

2個のPATCHペダルを同時に踏むとバイパスもしくはミュートされます。
●バイパスさせたい場合は、踏んだPATCHペダルをすばやく離してください。



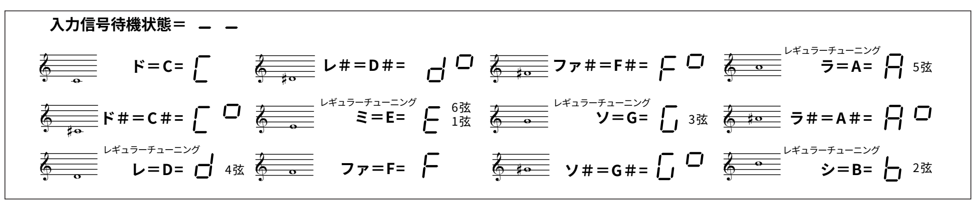
○ミュートさせたい場合は、PATCHペダルを1秒間以上踏み続けてから離してください。



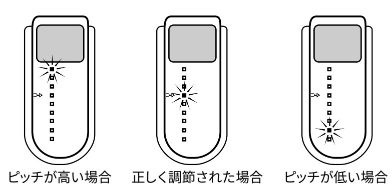
バイパスまたはミュートを解除する場合もPATCHペダルを踏みます。この場合は、どちらか一方を踏むだけで解除されます。バイパスまたはミュートが解除されると、それぞれの状態になる前に選ばれていたPATCHに復帰します。

チューナー機能

504のお買い上げ時には、バイパス（ミュート）状態にしたときに、自動的にギター用オートクロマチックチューナー機能が動作するように設定されています。504がバイパス（ミュート）状態のときにチューニングしたい弦を開放弦で弾くと、その音名に最も近い音名が、ディスプレイに表示されます。



チューナー機能が動作しているときには、PARAMETER CURSORインジケーターが、チューニングの精度を計るメーターとして働き、微調整の目安として利用できます。



チューナー機能をオフにするには

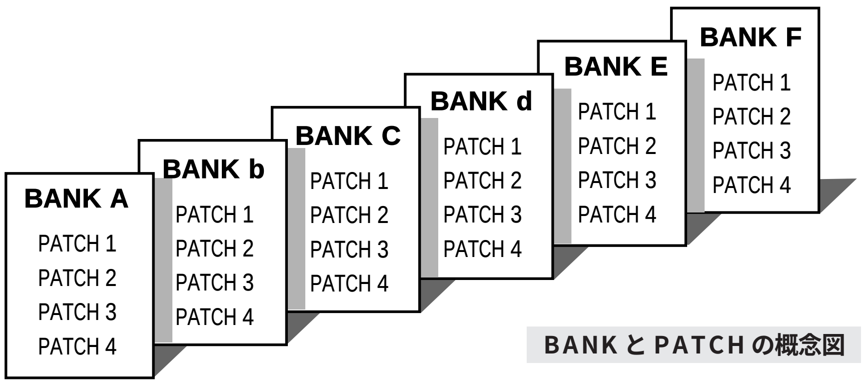
バイパス（ミュート）状態のときに、チューナー機能を動作させたくない場合は、プレイモードでSTOREキーとEDITキーを1秒間以上同時に押してください。
これでチューナー機能がオフになり、電源をオフにしてもこの設定が記憶されます。設定を変更したときに、ディスプレイに“tunEr oFF”（チューナーオフ）と表示されます。
チューナー機能をオンに戻すときも、同じ手順です。この場合は“tunEr on”（チューナーオン）と表示されます。

NOTE ： ギターと504の間で他のエフェクターがオンになっている場合、チューナーが正しく動作しないことがありますので、ご注意ください。

3 BANK／PATCHとは？

● **PATCH：** エフェクトの設定を一組にまとめたものをPATCH（パッチ）と呼びます。PATCHは、全部で24個あります。504には、あらかじめ24種類のPATCHが記憶されています。この設定は、お好みに合わせた作り変え（EDIT：エディット）ができます。

● **BANK：** 4個のPATCHをひとまとめにした区切りをBANK（バンク）と呼びます。



BANKとPATCHの概念図

4 PATCH LIST

504は、24個のPATCHがあります。これらには、工場を出荷する際にあらかじめ当社推奨の設定が記憶されております。

PATCHの内容は、お好みに合わせて自由に作り変えることができますし、再び呼び出すこともできます。

HINT アコースティックギター用のBANK A～dのPATCHは、ミキサーなどへのライン出力用に設定されています。ギターアンプで出力する場合は、De-AMPパラメーターを調節されることをお奨めします。

BANK A～d　アコースティックギター用のプリセットパッチ

BANK A DEMO	1	Acoustic Master	オールマイティなジャンゴ・サウンド
	2	Spacy-12	奏法を選ばないゴージャスな12弦サウンド
	3	Gut Style	ソロ用ガットギター・シミュレート
	4	Studio Strum	レコーディングクオリティーのストロークサウンド
BANK b WORLD	1	J-Folk	日本のフォークサウンド
	2	Hawaiian Steel	ラップスティールをシミュレート
	3	Street Blues	タイトなストリート・ブルース向けサウンド
	4	Asian Dream	SFX的なミラクルサウンド
BANK C PLAY	1	Studio Finger	レコーディングクオリティーのフィンガーピックサウンド
	2	Slide (Bottle)	ボトルネック奏法に適したサウンド
	3	Ragtime	ラグタイム風な演奏にマッチします
	4	Resonator	ドブロ・サウンドを得られます
BANK d ARTIST	1	Green Flavor	フレディ・グリーン・サウンド
	2	Arpeggian	アルペジオに最適
	3	Virtuoso	ジャズのソロギター風にも使える
	4	Avant-Garde	アコースティックギターによる前衛的なサウンド

BANK E、F　エレクトリックギター用のアコースティックシミュレーションパッチ

BANK E DEMO	1	Standard	ストレートなアコースティックギターサウンド
	2	El-Acorustic	ピエゾ・ピックアップのエレアコサウンド
	3	Warm Taste	ナイロン弦ギター風サウンド
	4	12-Plus	アルペジオ、リードともに最適
BANK F STYLE	1	Jumbo Type	大きな胴鳴りのサウンド
	2	Stage Strum	ライブでの使用に最適なサウンド
	3	New-Strings	新しい弦に変えた直後のような、きらびやかなサウンド
	4	Rich Strum	12弦ギターのような豊かなストローク用サウンド

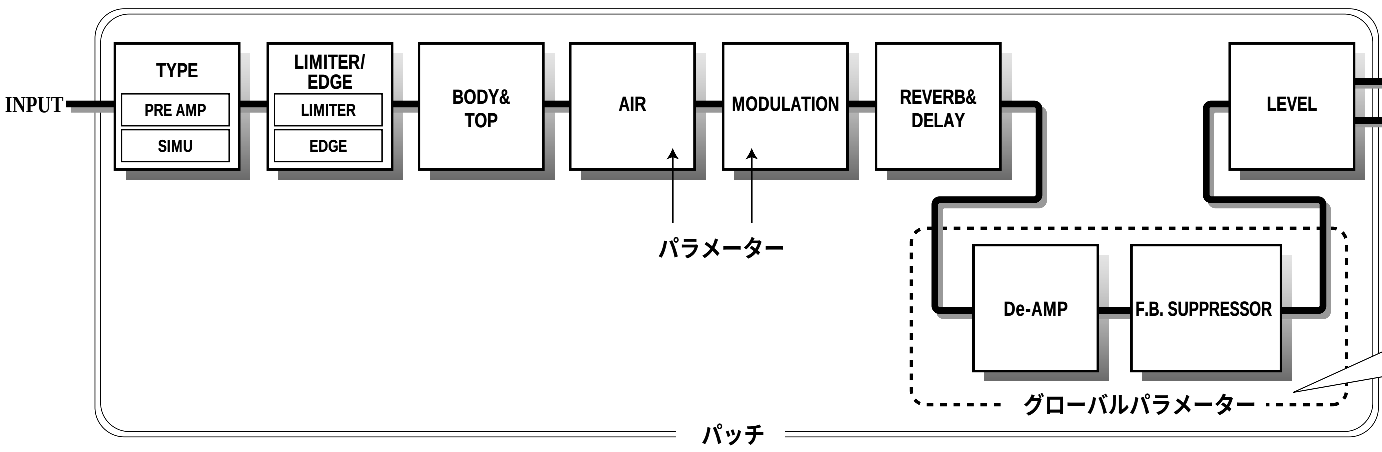
BANK E、Fのパッチはシングルピックアップのフロントポジションでの演奏が最適です。

5 PATCHの構成について

504のPATCH（パッチ）は、つぎに挙げる9つのパラメーターから構成されています。パラメーターとは、音色の特徴や効果のかかり具合を決定する要素のことで、自分の好みに応じて自由に調節することができます。調節した各パラメーターの状態を本体内にPATCHとして記憶させ、自由に呼び出すことが可能です。

ただし、グローバルパラメーターの設定はすべてのPATCHに共通して働きます。

それぞれのパラメーターの働きについては「11. PATCHの作り変え方（エディット）」をご参照ください。

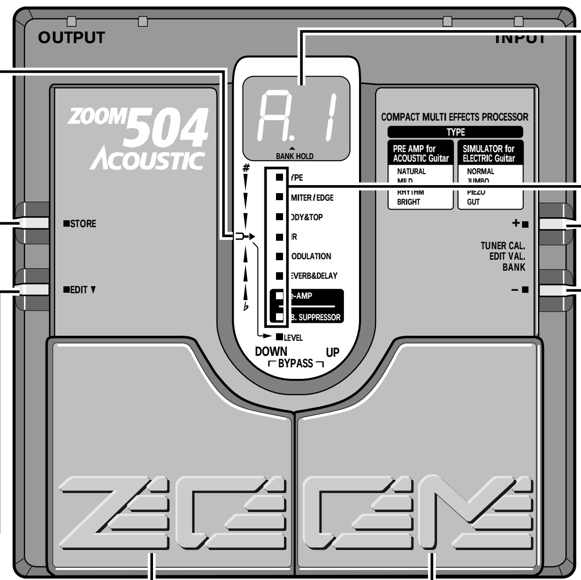


グローバルパラメーターとは

グローバルパラメーターとは、すべてのパッチに共通して働くパラメーターのことです。調節したグローバルパラメーターの内容は、パッチを切り替えても変化しません。また、グローバルパラメーターの設定内容もパッチと同様に本体内に記憶させることができます。

6 各部の名前とはたらき／接続について

フロントパネル



TUNER（チューナー）インジケーター：

● **バイパス（ミュート）／チューナー状態：**
このインジケーターが点灯してチューナーとして動作していることを表します。また、チューニングを微調節する場合のジャストチューニングの位置を表します。

● **エディットモード：**
LEVELパラメーター（PATCHの音量調節）が選ばれているときに点滅します。

● **BATTERY EMPTY WARNING表示：**
504を電池で使用する場合、このインジケーターがエディットモード時よりも短い間隔で点滅することがあります。これは電池が消耗していることを表す警告です。この場合は電池を新品に交換してください。

STORE（ストア：保存）キー：

PATCHの内容を保存する際に、保存待機状態にさせたり、保存を実行させるときに使用するキーです。

● **DIRECT LOAD機能の設定：**
演奏をお楽しみいただく状態（これを「プレイモード」と呼びます）でSTOREキーを1秒以上押すと、DIRECT LOAD機能のオン／オフが切り替えられます（詳しくは「10. PATCHの切り替え方（応用編：DIRECT LOAD OFF）」をご参照ください）。

EDIT（エディット：PATCHを自分の好みに作り変える）キー：

プレイモードからPATCHを好みに合うように作り変える状態（これを「エディットモード」と呼びます）に切り替えるときに使用するキーです。
エディットモードでは、このキーで変更したいエフェクトパラメーターを選択します。また、エフェクトパラメーターLEVELが選ばれているときにEDITキーを押せば、エディットモードからプレイモードにもどることができます。

● **BANK HOLD機能の設定：**
プレイモードでEDITキーを1秒以上押すと、BANK HOLD機能のオン／オフが切り替えられます（詳しくは「9. PATCHの切り替え方（応用編：BANK HOLD ON）」をご参照ください）。

DISPLAY（ディスプレイ）：

504を操作するのに必要な情報が表示されます。

●**プレイモード：**
選ばれているBANK（A～F）とPATCH（1～4）を表示します。

●**エディットモード：**
選択されているエフェクトパラメーターの値を表示します。

●**バイパス（ミュート）／チューナー状態：**
入力された楽器音の最寄りの音名を表示します。

PARAMETER CURSOR（パラメーターカーソル）インジケーター：

●**プレイモード：**
エフェクトモジュールのオン／オフを点灯で表示します。

●**エディットモード：**
エフェクトモジュールのオン／オフを点灯と点滅で表示します。
また、エディットの対象に選ばれているエフェクトパラメーターを点滅で表します。

●**バイパス（ミュート）／チューナー状態：**
入力された信号のピッチの高低を表すチューナーのメーターとして動作します。

VALUE（バリュー：値）＋／－キー：

●**プレイモード：**
BANKの切り替えに使用します。

●**エディットモード：**
エフェクトパラメーターの値を設定するときに使用します。

●**バイパス（ミュート）／チューナー状態：**
チューナーの基準ピッチを設定（キャリブレーション）するときに使用します。

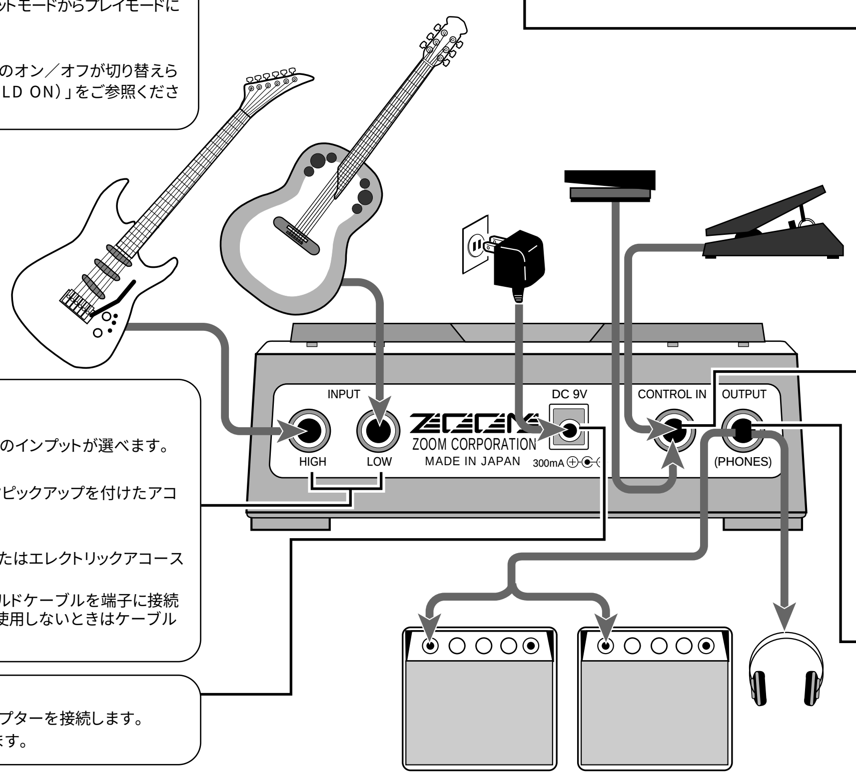
PATCH UP（右）／DOWN（左）ペダル：

●**プレイモード：**
PATCHを切り替えるときに使用します。
また両方を同時に踏むと、504がバイパス（ミュート）／チューナー状態になります。

●**エディットモード：**
エディットの対象となるエフェクトパラメーターを選ぶときに使用します。
また両方を同時に踏むと、エフェクトモジュールのオン／オフを切り替えできます。

●**バイパス（ミュート）／チューナー状態：**
バイパス（ミュート）／チューナー状態から抜けてプレイモードに戻るときに使用します。
この場合はどちらか一方のみを踏めばプレイモードに戻ります。

リアパネル



INPUT（インプット）端子：

アコースティックギターやエレクトリックギターを接続します。
ピックアップの出力レベルに応じて、HIGHまたはLOWのいずれかのインプットが選べます。

● **HIGH：**
シングルコイルタイプのエレクトリックギターやマグネティックピックアップを付けたアコースティックギターの出力端子を接続します。

● **LOW：**
ハムバッキングやアクティブタイプのエレクトリックギター、またはエレクトリックアコースティックギターの出力端子を接続します。

電池駆動時にはINPUT端子が電源スイッチを兼ねています。シールドケーブルを端子に接続すると、504の電源がオンになります。電池の消耗を防ぐために、使用しないときはケーブルを抜いてください。

DC IN（ACアダプター）端子：

DC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD–0006）のACアダプターを接続します。
この端子にACアダプターを接続すると504の電源がオンになります。

CONTROL IN（コントロール　イン）端子：

オプションのエクスプレッションペダルFP01やフットスイッチFS01を接続して504を外部からコントロールする端子です。
FP01を接続すると、アウトプット端子からの出力レベルをコントロールできます。
FS01を接続すると、F.B.SUPPRESSORのオン／オフをコントロールできます。具体的な使用法は、「12 .エフェクトパラメーターの一覧表」をご覧ください。

NOTE：
FP01／FS01を接続するときは、必ず本体の電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンのまま接続すると誤動作の原因になります。

OUTPUT（アウトプット）端子：

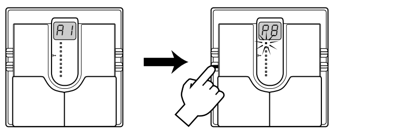
504の音が出力する端子です。モノラルシールドケーブルで1台のギターアンプに、またはY字ステレオシールドケーブルで2台のギターアンプにつなぐか、ステレオヘッドフォーンをつないでください。なお、ステレオヘッドフォーンをお使いになる場合は、若干音量が小さく感じられることがあります。その場合は、PATCHレベル、またはマスターレベルを上げるか、負荷インピーダンスの重いヘッドフォーン（負荷インピーダンス＝32Ω以下）をご使用ください。

11 PATCH の作り変え方（エディット）

504 のお買い上げ時には、あらかじめ推奨設定として 24 個の PATCH が内部に記憶されています。しかし、これらの PATCH は 504 の持つ多彩な音色や能力のごく一部でしかありません。そこで、504 には、お客様の好みに合わせてより多くの音色をお楽しみいただけるように、エフェクトパラメーター（PATCH の構成要素）の設定を変更して音色を作り替える機能が付いています。この作り替える操作を「エディット」と呼び、エディットを行うための状態を「エディットモード」と呼びます。

通常の演奏をお楽しみいただく状態（プレイモード）からエディットを行うための状態（エディットモード）に移るには、EDIT キーを押してすぐに（1 秒未満）離してください。

* 1 秒以上押すと、BANK HOLD 機能のオン／オフ切り替え操作になってしまうので、ご注意ください。



① プレイモードでエディットの元となるPATCHを選びます。 ② **EDITキー**を押します。これでエディットモードになります。

プレイモードからエディットモードに入った直後には、常に TYPE の PARAMETER CURSOR インジケーターが点滅し、同時に TYPE の設定内容がディスプレイに表示されます。これは現在 TYPE がエディットの対象として選ばれていることを示します。

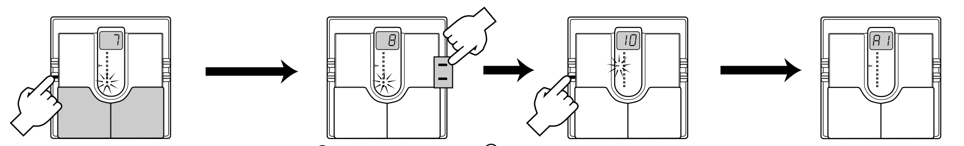
エディットモードでは、エディットの対象となるパラメーターを選ぶのに EDIT キーまたは、PATCH UP ／ DOWN ペダルを使用します。504 に含まれるパラメーターは、次の通りです。

- TYPE ：プリアンプモジュールの種類を選択します。接続するギターのタイプや用途に応じて設定します。
- LIMITER ／ EDGE ： TYPE パラメーターの設定に応じて、弦の響きを強調したりダイナミックレンジを抑えたりします。
- BODY & TOP ：音の低域（BODY）と高域（TOP）を強調させることで、箱鳴りの感じを強調したり、音にハリを与えたりします。
- AIR ：マイクで集音したときの響きをシミュレートします。
- MODULATION ：音にまろやかな広がりを与えるコーラス効果などを調節します。パラメーターの設定によっては、オクターブ上の音を加えて 12 弦ギター風のサウンドを作ることができます。
- REVERB & DELAY ：音に残響成分を加えるリバーブ効果を調節します。パラメーターの設定によっては、ディレイとリバーブをミックスした深い響きを作ることができます。
- De-AMP ：アコースティックギターの音をエレクトリックギター用のアンプで鳴らすときの耳障りな帯域を調節します。
- F.B. SUPPRESSOR ：アコースティックギターを使ったライブ演奏で起こりやすいフィードバックを抑えます。
- LEVEL ：パッチ全体の音量を調節します。

EDIT キーを押すごとに、PARAMETER CURSOR インジケーターの点滅が、下のパラメーターへと移動していきます。ただし LEVEL パラメーターについては、TUNER インジケーターが PARAMETER CURSOR インジケーターの役割をします。一番下のインジケーター（F.B. SUPPRESSOR）が点滅した状態で EDIT キーを押すと TUNER インジケーターが点滅し、LEVEL パラメーターを調節する状態になります。

パラメーターの値の変更は、VALUE ＋／－キーで行います。パラメーターの内容については「12 .エフェクトパラメーターの一覧表」をご覧ください。

エディットモードを抜けてプレイモードに戻りたい場合は、LEVEL が選ばれた（TUNER インジケーターが点滅している）状態で EDIT キーを押してください。
パラメーターを変更した状態を保存しておきたい場合は、「13. PATCH の保存（ストア）」をご参照ください。



① 変更したいパラメーターを**EDITキー**または**PATCH UP／DOWNペダル**で選びます。 ② **VALUEキー**で設定を調節します。 ③ TUNER インジケーター（パラメーター9:LEVEL）が点滅しているとき、さらに**EDITキー**を押します。 ④ プレイモードに戻ります。

EDIT キーの代わりに PATCH DOWN ペダルを踏むと、エディットモードのまま TYPE パラメーターに戻ります。

12 エフェクトパラメーターの一覧表

PARAMETER 1 : TYPE（タイプ）

●アコースティックギターを使う場合はプリアンプの設定、エレクトリックギターを使う場合はアコースティックギターシミュレーターの設定を行うパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば設定値が1つずつ前後します。

PRE AMP for ACOUSTIC Guitar（アコースティックギター用）

アコースティックギターを使用する場合は、na／Md／ry／brのいずれかの設定値を選びます。この設定値ではアコースティックギター専用のプリアンプとして働き、それぞれ演奏スタイルによって音色の要素が異なります。

na（ナチュラル）：	Md（マイルド）：	ry（リズム）：	br（ブライト）：
na 音楽のジャンル、奏法を選ばない自然な音色です。	Md ピエゾピックアップの音もマイルドで暖かな音に変えます。	ry ストローク奏法に最適なタイトな音です。	br フィンガー奏法に最適な明るい音です。

SIMULATOR for ELECTRIC Guitar（エレクトリックギター用）

エレクトリックギターを使用する場合は、nr／Jb／PE／Gtのいずれかの設定値を選びます。この設定値では、エレクトリックギターの音色をアコースティックギター風の音色に変えるアコースティックギターシミュレーターとして働き、それぞれ異なる音色をシミュレートします。

nr（ノーマル）：	Jb（ジャンボ）：	PE（ピエゾ）：	Gt（ガット）：
nr オーソドックスなアコースティックギターのサウンドをシミュレートします。	Jb ボディの大きなアコースティックギターのようなサウンドをシミュレートします。	PE ピエゾピックアップを使ったアコースティックギターのようなサウンドをシミュレートします。	Gt ナイロン弦を使ったクラシックギターのようなサウンドをシミュレートします。

PARAMETER 2 : LIMITER / EDGE（リミッター／エッジ）

●TYPEパラメーターの設定に応じて、ダイナミックレンジや音色の要素を調節するパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、1～9→10、10～14→15と値がスキップします。

TYPEパラメーターでna／Md／ry／br（アコースティックギター用）が選ばれているときは、ダイナミックレンジを抑えるリミッターとして働きます。

1～15 リミッターのかかり具合を調節します。値が大きいほどリミッターの効果が大きくなり、よりダイナミックレンジが抑えられます。

※TYPEパラメーターがオフの状態でも、リミッターとして調節できます。

TYPEパラメーターでnr／Jb／PE／Gt（エレクトリックギター用）が選ばれているときは、アコースティックギター風の弦の響きを強調させるEDGEエフェクトとして働きます。

1～15 EDGEエフェクトのかかり具合を調節します。値が大きいほど弦の響きが強調されます。

PARAMETER 3 : BODY & TOP（ボディ／トップ）

●音の低音域（BODY）と高音域（TOP）を調節するパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、b1～b9→t1、t1～t9→E1と値がスキップします。

BODYの値を上げると箱鳴りの響きが強調され、TOPの値を上げると音にハリがでます。

※TYPEパラメーターでアコースティックギター用（na／Md／ry／br）が選ばれているときと、エレクトリックギター用（nr／Jb／PE／Gt）が選ばれているときとでは、BODY & TOPの効果が異なります。

b1～b9 低音域（BODY）を調節します。値を大きくするほど箱鳴りの響きが強調されます。

t1～t9 高音域（TOP）を調節します。値を大きくするほど音にハリがでます。

E1～E9 BODYとTOPを同時に調節します。値を大きくするほど効果が大きくなります。

PARAMETER 4 : AIR（エアー）

●マイクで集音したときの響きをシミュレートするパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、1～9→10と値がスキップします。

ライン録音でもマイクで集音したような空間的な響きが得られます。

1～10 マイクの位置を調節します。値を大きくするほどギターからマイクを遠ざけて集音したようなサウンドになります。

PARAMETER 5 : MODULATION（モジュレーション）

●音に広がり感を与えるパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、C1～C9→c1、c1～c9→t1というように値がスキップします。

コーラス効果を加えることで、音に広がり感を与えるパラメーターです。
設定値によっては12弦ギター風のギターサウンドが作れます。

C1～C9 深みのあるリッチなコーラス効果です。値を大きくするほどかかり具合が大きくなります。

c1～c9 原音を重視した軽めのコーラス効果です。値を大きくするほどかかり具合が大きくなります。

t1～t9 12弦ギター風サウンドを得るエフェクトです。値を大きくするほど効果が強くなります。

d1～d9 2つの同じ楽器で同時に弾いたようなサウンド（ダブリング）を作ります。値を大きくするほど原音とエフェクト音のサウンドのズレが大きくなります。

PARAMETER 6 : REVERB & DELAY（リバーブ&ディレイ）

●残響音やエコー音を加えるパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、L1～L9→S1、S1～S9→d1というように値がスキップします。

残響音をシミュレートするリバーブ効果と、エコー音をシミュレートするディレイ効果を調節します。
設定値によってはリバーブ効果とディレイ効果を同時に利用できます。

L1～L9 比較的広い部屋の残響をシミュレートします。値を大きくするほどリバーブ効果が大きくなります。

S1～S9 比較的狭い部屋の残響をシミュレートします。値を大きくするほどリバーブ効果が大きくなります。

d1～d9 ディレイ効果が得られます。値を大きくするほどエコーの間隔が大きくなります。

r1～r9 リバーブ効果とディレイ効果をミックスさせたものです。値を大きくするほどリバーブ効果が大きくなり、同時にエコーの間隔が大きくなります。

グローバルパラメーター

PARAMETER 7 : De-AMP（デアンプ）

●アコースティックギターをエレキギター用アンプで鳴らした時の耳障りな帯域を調節するパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、b1～b9→c1、c1～c9→S1というように値がスキップします。

エレクトリックアコースティックギターを使う場合、使用するアンプやピックアップに応じて耳障りに聞こえることがあります。De-AMPパラメーターを調節することで、このような帯域を調節することができます。演奏の状況に応じて次の3つの設定値から選んでください。

b1～b9 ブライトコンボ型ギターアンプで鳴らした時の耳障りな帯域を抑えます。値を大きくするほど効果が大きくなります。

c1～c9 コンボ型ギターアンプで鳴らした時の耳障りな帯域を抑えます。値を大きくするほど効果が大きくなります。b1～b9とは調節する帯域が異なるため、アンプに応じて使い分けてください。

S1～S9 スタック型ギターアンプで鳴らした時の耳障りな帯域を抑えます。値を大きくするほど効果が大きくなります。

※De-AMPパラメーターはグローバルパラメーターで、すべてのPATCHに共通して働きます。

PARAMETER 8 : F.B. SUPPRESSOR（フィードバックサプレッサー）

●抑え込むフィードバック周波数を調節するパラメーターです。
アコースティックギターを使ったライブ演奏でフィードバックを抑えるために利用します。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、SC→1、1～9→10、10～19→20というようにスキップします。

フィードバックを起こしている周波数帯（フィードバック周波数）を抑えることで、フィードバックを軽減します。抑える周波数は自動または手動で設定できます。

SC “ SC ”（スキャン）を選ぶと、演奏中にフィードバックを起こしている周波数をつぎの要領で自動的に検出します。

フィードバック発生中“ SC ”を選ぶと、約1秒間で周波数を検出し、自動的にフィードバックを軽減します。フィードバック周波数の検出は、設定値“ 1 ”から“ SC ”に切り替えたとき、または“ SC ”に設定されたF.B. SUPPRESSORパラメーターを（PATCH UP／DOWNペダルの両方を踏むことで）オフからオンに切り替えたときに行います。

周波数検出中はパラメーターカーソルインジケーターが点滅します。点滅中はペダル及びキーは受け付けません。

1～30 フィードバックを抑える周波数を手動で設定します。パラメーターの値を大きくするほどフィードバックを抑える周波数が高く設定されます。

※F.B. SUPPRESSORパラメーターはグローバルパラメーターで、すべてのPATCHに共通して働きます。

PARAMETER 9 : LEVEL（レベル）

●パッチ全体の音量を調節するパラメーターです。

VALUE+／−キーのどちらか一方を押せば値が1つずつ上下します。
VALUE+／−キーを両方同時に押せば、1～9→10、10～19→20というように値がスキップします。

1～30 値が大きいほどそのパッチ全体の音量が大きくなります。

HINT 1 変更したいパラメーターの選択

「11. PATCH の作り変え方（エディット）」で説明したように、変更したいパラメータは EDIT キーを何度か押して選択しますが、PATCH ペダルを用いても同じように選択することができます。

PATCH UP ペダル（右側の PATCH ペダル）を踏むと、下から上へインジケーターの点滅（選択されているパラメーター）が移動します。
PATCH DOWN ペダル（左側の PATCH ペダル）を踏むと、上から下へインジケーターの点滅が移動します。

HINT 2 パラメーターのオン／オフについて

LEVEL を除くいずれかのパラメーターを選んでいるとき、PATCH UP ／ DOWN ペダルを同時に踏むことでそのパラメーターのオン／オフを切り替えることができます。オン／オフを切り替えた状態は本体に記憶することができます。

●パラメーターのオン／オフを切り替えるには
エディットモードで LEVEL 以外のパラメーターが選ばれているとき、PATCH UP ／ DOWN ペダルの両方を同時に踏むと、そのパラメーターがオフになります(ディスプレイには“ oF ”と表示されます)。
オフの状態から再度 PATCH UP ／ DOWN ペダルを同時に踏むか、VALUE ＋／－キーのどちらか一方を押すと再びオンになり、パラメーターは元の設定値（オフにする直前の値）に戻ります。

※ F.B. SUPPRESSOR が“ SC ”に設定されている場合、このパラメーターを一度オフにしてからオンに戻すと、もう一度フィードバック周波数を自動検出します。このため、F.B. SUPPRESSOR をオフにする前の効果と再度オンにしたときの効果が異なる場合があります。

HINT 3 パラメーター設定のショートカットについて

通常パラメーターの設定は、VALUE キーで値を 1 ずつ上下させて調節を行いますが、操作を簡単にするためにショートカット（近道）操作が用意されています。
ショートカット操作を行うには、エディットモードで VALUE ＋／－キーを同時に押します。
例えば LEVEL のパラメーターの設定値を“ 20 ”から“ 29 ”に変えたい場合、VALUE ＋キーだけなら 9 回も押さなければなりません。ショートカット操作を使えば VALUE ＋／－キーの両方を 1 回押すだけで“ 30 ”に変わり、続いて VALUE －キーを 1 回押せば“ 29 ”の値になります。

HINT 4 F.B. SUPPRESSOR の使い方

① エディットモードでフィードバック周波数を自動検出させる場合
エディットモードから F.B. SUPPRESSOR の設定値を“ SC ”に設定し直すか、F.B. SUPPRESSOR の値を“ SC ”にした状態でオフ→オンと切り替えます。

② エディットモードでフィードバック周波数を手動で調節する場合
“ SC ”の設定値でうまくフィードバックが軽減できない場合は、エディットモードで F.B. SUPPRESSOR の設定値として 1 ～ 30 の値の中から最適な値を探してください。

③ プレイモードでフィードバック周波数を自動検出させる場合
演奏中にフィードバック周波数を自動検出させるには、あらかじめ F.B. SUPPRESSOR の設定値を“ SC ”にしておきます。プレイモードでフィードバックが発生中に FS01 を 2 回踏むと、F.B. SUPPRESSOR パラメーターがオフ→オンと切り替わり、フィードバック周波数を再度自動検出します。

※ フィードバック周波数を自動検出している間（約 1 秒間）は、ギターのボリュームなどを絞らないでください。

※ F.B. SUPPRESSOR が 1 ～ 30 に設定されているときは、オフ→オンと切り替えても自動検出は行われません。

※ いずれの場合も、現在選ばれている PATCH を保存することで、F.B. SUPPRESSOR の設定値が保存されます。

HINT 5 マスターレベルの調節

504 では、総合的な音量を決定するマスターレベルを調節することができます。
マスターレベルを設定するには、プレイモードで、VALUE ＋／－キーを同時に 1 秒間以上押し続けます。すると、現在のマスターレベルが 1 秒間ディスプレイに表示されます。
レベルを変更したい場合は、マスターレベルの値が表示されている間に、VALUE ＋キーまたは VALUE －キーを用いて希望の音量になるように調節します。
マスターレベルの調節できる範囲は 0 ～ 50 です（初期設定値＝ 40）。
なお、マスターレベルの値は記憶されません。電源をオンするごとに再度調節してください。

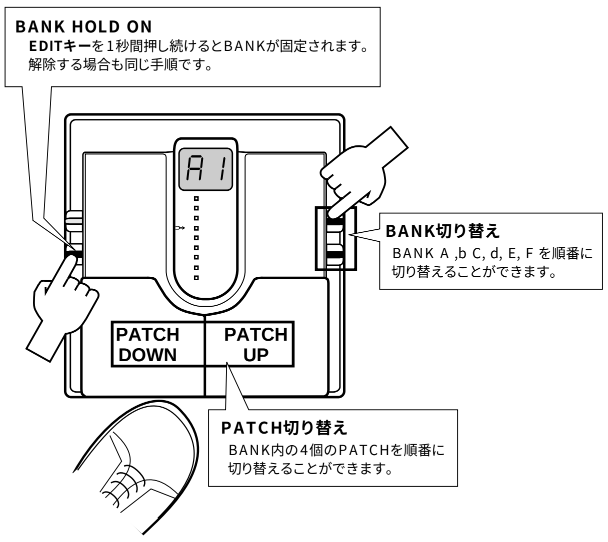
9 PATCH の切り替え方（応用編：BANK HOLD ON）

504 のお買い上げ時には、BANK の区切りとは無関係に PATCH ペダルを踏むとすべての PATCH を順番に切り替えられるような設定となっています。

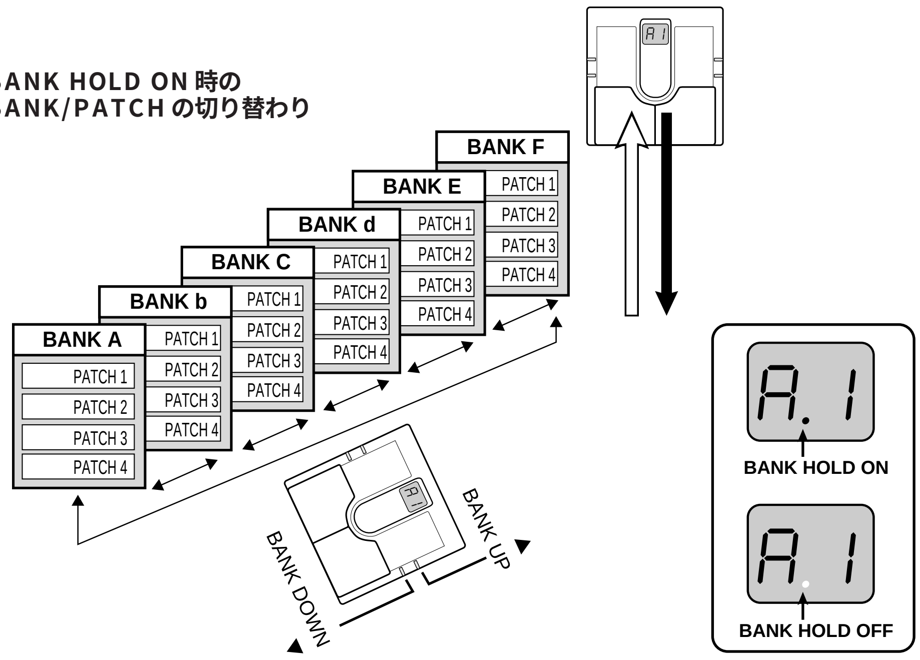
BANK HOLD（バンクホールド）機能は、24 個の PATCH を BANK ごとに分けて 4 個ずつ操作する機能です。この機能がオンのときに PATCH ペダルを踏むと、同じ BANK 内で 4 個の PATCH が順番に切り替わります。

BANK HOLD 機能をオンにする場合は、プレイモードで EDIT キーを 1 秒間以上押し続けてください。ディスプレイ上の BANK HOLD インジケーターが点灯して機能がオンになったことを示します。BANK HOLD 機能をオフする場合も、EDIT キーを 1 秒間以上押し続けてください。インジケーターが消灯します。

BANK の切り替えは、VALUE ＋／－キーで行います。



BANK HOLD ON 時の
BANK/PATCH の切り替わり

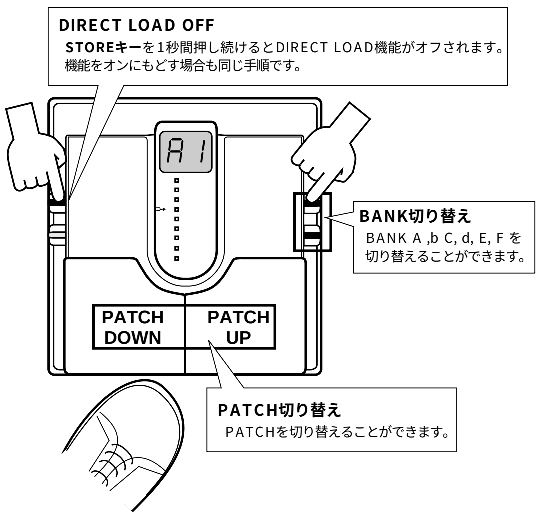


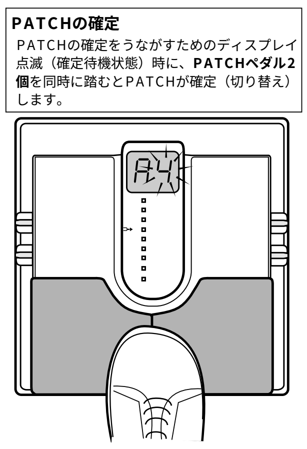
10 PATCH の切り替え方(応用編：DIRECT LOAD OFF)

工場出荷時は、PATCH ペダルを踏むとすぐに PATCH が切り替わるような設定となっています。
このような PATCH の切り替え方法を DIRECT LOAD（ダイレクトロード）がオンされていると呼びます。
1 回のアクションで PATCH を切り替えられるので、並んでいる順番に切り替えるにはとても便利ですが、切り替え先の PATCH が離れている場合、不要な PATCH の音色を再生してしまいますので不便さを感じさせることがあります。
その場合、ここで説明するように DIRECT LOAD 機能をオフして利用されると便利です。
DIRECT LOAD 機能がオフされていると、確定操作を実行しない限り、BANK や PATCH をどのように切り替えても、現在選ばれている PATCH の音色が保持されます。

例えば、PATCH1 から PATCH4 に切り替える場合など、DIRECT LOAD 機能がオンのときは、PATCH UP ペダルを踏むたびに、PATCH2，PATCH3 の音色を再生して PATCH4 に切り替わりますが、DIRECT LOAD 機能がオフの場合は、PATCH UP ペダルを踏むごとにディスプレイの文字が点滅して PATCH の確定待ち状態であることを示します。PATCH4 の点滅表示で確定操作をすると、そこで初めて音色が切り替わります。つまり、途中の PATCH2，PATCH3 の音色は再生されません。

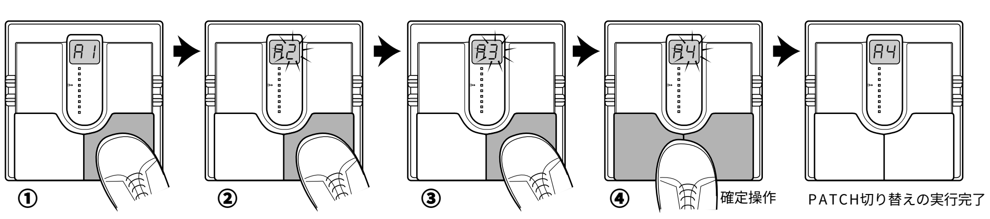
DIRECT LOAD 機能のオン／オフは、プレイモードで STORE キーを 1 秒間以上押すことで切り替えられます。
DIRECT LOAD 機能がオフされている時の PATCH 確定は、PATCH ペダルを 2 個同時に踏むことで実行されます。





2個同時踏み

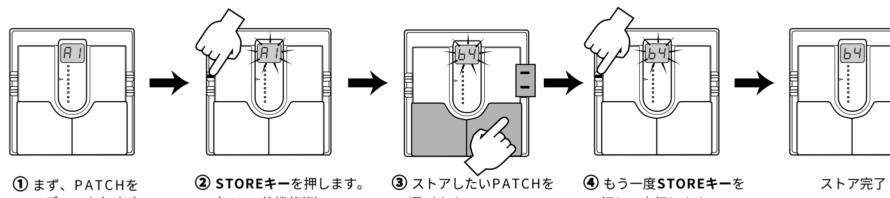
例）PATCH1からPATCH4に切り替える場合



13 PATCH の保存（ストア）

お客様が作り変えた（エディットした）PATCH は、保存（ストア）しない限り別の PATCH を選んだり電源をオフしたりするとエディット前の状態にもどってしまいます。
ここでは、エディットしたPATCH のストアについて説明します。
ストアは、プレイモードでもエディットモードでも行えます。操作は、いたって簡単です。
まず、好みに合わせてエディットしたPATCH の状態で、STORE キーを押してください。
　プレイモードでストアする場合は、STORE キーを1秒以内に離してください。
　1秒以上押しますと、DIRECT LOAD 機能の設定になってしまいます。
ディスプレイが点滅します。この状態をストア待機状態と呼びます。
　ストアを中止する場合は、この状態で EDIT キーを押してください。
　つぎに記述されている操作を実行しますと、PATCH の設定は変わってしまい、元にはもどせません。
ストア待機状態で、そのまま STORE キーを押すと、先ほどまでエディットしていたPATCH に保存されます。
またストア待機状態で、PATCH の切り替えを行ってから STORE キーを押すと、ここで選んだ PATCH に保存されます。
先ほどまでエディットしていたPATCH は、エディット前の状態にもどります。

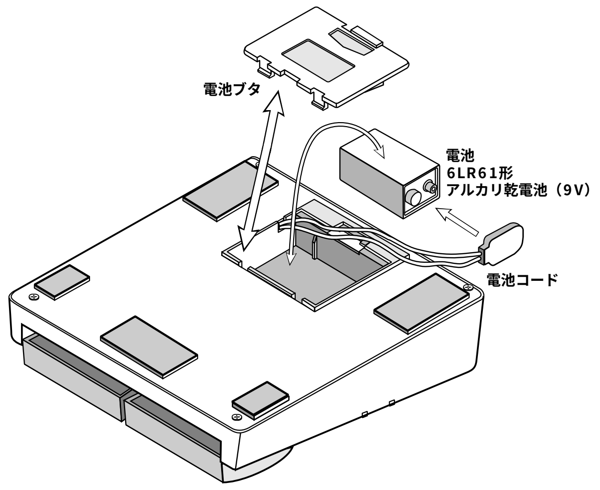
NOTE
PATCH を保存すると、グローバルパラメーター（De-AMP、F.B. SUPPRESSOR）の設定も同時に本体内に記憶されます。グローバルパラメーターを変更した後で保存しなかった場合、電源をオフにしたときに元の設定に戻ってしまうので、ご注意ください。



① まず、PATCHをエディットします。　② **STOREキー**を押します。（ストア待機状態）　③ ストアしたいPATCHを選びます。　④ もう一度**STOREキー**を押して実行します。　ストア完了

14 電池の交換について

電池駆動時にチューナーインジケーターが点滅する場合は、電池が消耗しています。
つぎの手順で電池を交換してください。
電池は、6LR61 形乾電池（アルカリ）をご使用ください。
ほかの電池を使用になられた場合、連続使用可能時間が短縮されることがあります。



1．504 本体を裏返しにして、電池ブタを開けます（爪を押して引っ掛かりを外してフタを上に持ち上げてください）。
2．電池ケースから電池を出して、電池コードを外します（外す際は、コード自身を引っ張らずに結合端子部分を持って外してください）。
3．新しい電池を電池の極性（＋／－）に注意して電池コードに接続し、正しく電池ケースに入れます。
4．電池コードをはさまないように注意して、電池ブタを閉めてください（電池ブタの爪がきちんと引っ掛かるようにしてください）。

15 PATCH を工場出荷時の状態にもどす方法

504 は、工場から出荷をする際に当社推奨の PATCH を 24 個記憶しています。
この設定は、お客様が設定を書き換えてストアされた後でも復帰させることができます。
そして、この設定を復帰させる操作のことをリコールと呼びます。特に、24 個すべての PATCH 設定と BANK HOLD 機能や DIRECT LOAD 機能の設定を初期化するなどすべてを元にもどすことをオールイニシャライズといいます。

リコールは、通常の操作とは独立しています。プレイモードやエディットモードから直接切り替えることはできません。特別な方法で電源をオンする操作でのみ、リコール操作が使用できるようになります。

リコール操作は、つぎの手順で行ってください。

1．電源を一旦オフにします。
2．STORE キーを押しながら、電源をオンします。
3．ディスプレイに、AL（AL）を点滅表示します。
4．オールイニシャライズを実行させる場合は、この状態で STORE キーを押してください。
　表示が素早く点滅してオールイニシャライズを実行します。完了すると自動的にプレイモードにもどります。
5．特定の PATCH の設定だけをリコールさせたい場合は、上記3．の状態で通常の PATCH 切り替えと同じ操作をして、希望の PATCH を選んでください。
6．希望の PATCH を選択したなら、STORE キーを押してください。
　表示が素早く点滅して指定の PATCH を該当の PATCH に復帰させます。
7．個別のリコールは、継続して行うことができます。リコール操作から抜けたい場合は、EDIT キーを押してください。プレイモードに切り替わります。また、電源をオフすることでもリコール操作から抜けることができます。

16 製品仕様

◇ エフェクト：	26 種類 ○ タイプ　　プリアンプ（アコースティックギター用） 　　　　　　アコースティックギター　シミュレーター（エレキギター用） ○ リミッター　（タイプ：プリアンプ、タイプ OFF） 　エッジ　　（タイプ：アコースティックギター　シミュレーター） ○ ボディー＆トップ　○ エアー　○ モジュレーション ○ リバーブ＆ディレイ　○ デアンプ　○ フィードバック サプレッサー 最大同時使用数　8 エフェクト
◇ BANK ／ PATCH ：	6BANK × 4PATCH ＝ 24PATCH（書き換え、保存可能）
◇ Analog ／ Digital 変換：	18bit 128 倍オーバーサンプリング
◇ Digital ／ Analog 変換：	16bit リニア
◇ サンプリング周波数：	31.25kHz
◇ インプット：	ハイインプット　標準モノラルフォーンジャック　（入力インピーダンス＝470k Ω） 　入力レベル：シングルコイルタイプ　エレクトリックギター用 　　　　　　　マグネティックピックアップ　アコースティックギター用 ローインプット　標準モノラルフォーンジャック　（入力インピーダンス＝470k Ω） 　入力レベル：ハムバッキング、アクティブピックアップ　エレキギター用 　　　　　　　エレクトリック　アコースティックギター用
◇ アウトプット：	ライン／ヘッドフォーン兼用アウトプット　標準ステレオフォーンジャック 　（最大出力レベル＝＋ 6dBm ／出力負荷インピーダンス＝ 10k Ω以上時）
◇ コントロール端子：	オプション FP01 ／ FS01　接続端子
◇ ディスプレイ／インジケーター：	2 桁 7 セグメント LED 　チューナーインジケーター、パラメーターカーソルインジケーター
◇ 電源：	別売　AC アダプター　DC9V センターマイナス（ズーム AD-0006） 　　　電池　　　　6LR61 形乾電池（アルカリ）× 1 個　連続使用　約 4 時間
◇ 外形寸法：	147mm（W）× 157mm（D）× 49mm（H）
◇ 重量：	480g（電池含まず）

・0dBm ＝ 0．775Vrms
・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。